

[スイッチ(転換)非日常へ そなえるパーク]

管理者自身の 教育訓練・備え

- ・防災マニュアル
- ・防災施設の日常点検
使い方を知る
- ・想定門答いおく
- ・社員の参集者確認
- ・災害時のゾーニング作成

地域連携

- ・自治会との話し
合い
- ・防災イベント
イベント
(マルシェなど)
- ・人材発掘
(外国語看護士)
- ・防災公園である告知

に向けて

必要なモノ 設備 備え

- ・電源(バッ
tery)
- ・情報通信
環境
- ・防災トイレ
- ・飲料水、食料

2024年11月27日

班番号 2班

進行役

書記係

発表者

[大規模な地震発生直後から初期対応へ備えるために平時に取組むべき対策]

〔想定公園〕 都道府県立 30haの運動公園：広域防災拠点 / 広域避難場所

まずは... 初期対応

- ・ スタッフの集合、対策本部の設置 → 対応方針の決定
- ・ 災害状況の確認 → 実際の対応へ
- ・ 利用者の避難誘導 →

平時より取組む

- ・ チェックシート、リスクシート、巡回ルートの作成：平時より危険リスクの高い場所の認識
→ 災害時にまずは確認することができる！
- ・ 防災訓練の実施：普段から災害時の動き方を意識しておく！
- ・ 公園の防災マップの作成：利用者の方にも広く周知する！
- ・ インフラの確認、定期点検の実施：想定外にならないような対応！
- ・ 別のイベント内で防災設備を紹介：防災トイレを設置、子どもたちへの認識も広める！
(防災とは関係のないイベント等)

タイトル

[ドキュメント

72時間: “初期対応は 公園管理者に任せろ!!”

直後

- 安全確認
- 職員
- 利用者
- 施設の安全
- 救助

二次行動

- 誘導(安全な場所)
- 情報(収集 発信)
- 初期インフラの整備
 - 木・トイレ
 - 明かり・暖房
 - (夜間・冬対策)

行政が重くまで

- 避難所として受入れ可能か。
→行政への伝達
- 近隣との連携

日頃からの準備

- マニュアル(行政・地域)との連携
- 防災施設・備品のメンテナンス・使い方
- 住民との防災意識の共有

[臨海部の地区公園の防災について]

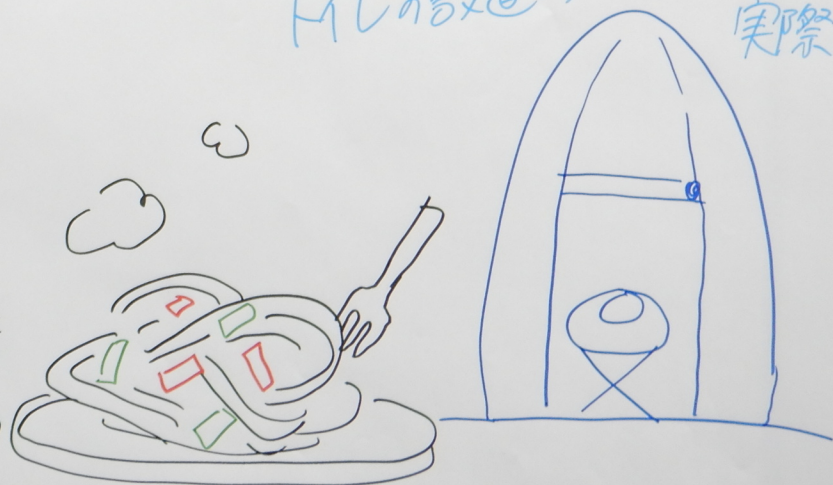
ふだんからしておくこと

- 災害時のマニュアル作成 (スタッフの役割、連絡体制)
- 地域との連携 (災害時に協力してもらう、防災訓練 = マンホールトイレ設置)
- 公園の点検 (建物、樹木等) 安全な場所に誘導できるように。
- 避難場所、経路の周知 (看板、SNS)
- リスクシート (浸水、液状化、倒木)
- 備品、備蓄品の点検 (数量、期限)
- ワークショップやイベントとして、実際に
使ってみながら防災を体験してもらう

(期限が近い非常食なども食べてみたり...
↑ 使ったクッキング)

トイレの設置方法

実際に使える?



ハロスタや炊き込みごはんなど
非常食は美味くなっていますよ(?)

タイトル

2024年11月27日

班番号

5

進行役

書記係

発表者

日ごろの点検・安全かくはん

・老木健康チェック、など

・おしぎいのチェック
びくちん

フェーダーあり
自カいびでん

言

マニュアルの作成・更新

○指し示したいところ(その日のシフト)

・施設安全の確認

体育館は使えぬのか

→時前にどこをどう

使うのかのせい

ペットOKか、など

○防災井戸

○イリジウム(衛星電話)設置

○災害ベンダー自取枚

○ラジオの活用

○避難経路・誘導経路
のかくにん

タイトル

72時間生きつなぐ
子どもから大人まで

集まる公園

～地域をつなげる公園をめざす～

○地域行政をつなげる

訓練をしよう

○スナック 古参のるえ

○利用者もまきこみだ+

防災イベント 地域行政会

コミュニケーションカード

新着本が少なく

行脚しやう

グラウンドゴルフ

ゲートボール

モリツ

ウォーキング

国内のこころ

・早稲 会やうち

113人ほど
公園いそが

有イベント

で年(かみ)
でん

運動イベント

花火(祝利用)

[仲良くなるのが1番! コミュニケーションで乗り越える災害]

○ 対象: 都道府県立の約30ヘクタルの運動公園

○ キーワード: 地域住民とのコミュニケーション

普~~通~~断段からの準備

- ・ 緊急連絡網
- ・ 体制表の作成 認知
- ・ 関係所の役割分担
- ・ 備蓄品の確認
- ・ マニュアルの作成

- ・ 近隣住民
- ・ 公園ボランティア
- ・ 公園利用者
- ・ 行政関係

普段から
仲良く
関わり(強)



参加しやすいイベントの開催

例) 防災イベント、備蓄倉庫のバックヤードツアー
焚火まだい本焼、
夏祭り etc...

普段から仲よく
なっておくことが、
いざという時に
チームワークを発揮し
みんなの命を守る!

[災害に強い街区公園(平時の取組)]

対象公園: 都市部の街区公園

管理者常駐無

平時の取組: 管理者側の連絡網の構築(SNS、LINE胡)

・有事の際の看板設置(公園マップ)

・地域とのコミュニケーション(イベント開催)

・災害備蓄倉庫の整備(簡易トイレ、発電機等)

・マンホールトイレ、手押しポンプ設置の要望(行政)

[災害という不幸に明るく準備する]

不幸

準備

家族の安否

家族の話し合い

スタッフの安否

事務所内の活動体制の整備

周辺地域

消防訓練・自治会との連携

イベント

衣・食・住

約1ヘクタールの

近隣公園

[お城公園における地震対応]

< 概要 >

① 公園名 お城公園

② 面積 10ha

③ 立地状況

海岸沿いで、小高い丘の上。

周辺に住宅地、ホテル

④ 施設等

お城、公園、駐車場、カフェ

児童プール、緑地など

⑤ 防災設備

貯水槽（飲料水1万人分）、トイレベンチ20基

ハザードマップ（公園内に掲示）

< 想定される災害 >

① 倒木が発生する

② お城の石垣が崩れる

③ 外国人の被災者が出る

④ 緊急車両の初動

< 対策 >

① 事前に危険木の調査、計画的な伐採

② 立入禁止措置

③ 翻訳機能のある端末を準備

④ イベント等を通じ関係各所（消防、警察）と連携しておく